

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月12日

計画の名称	公共下水道の浸水対策重点計画（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	富士宮市												
計画の目標	市内下水道管渠（雨水）を整備することにより、公共水域の水質保全、浸水対策を促進し、住みよく快適なまちづくりを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	437	A	436	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.22	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	公共下水道管渠（雨水）増設工事により、当初整備面積15.70haから最終目標整備面積50.30haに拡張し、整備率を40%以上にして、浸水による被害を最小限に留める。(弓沢川右岸第4排水区) 弓沢川右岸第4排水区整備率 整備済面積 / 計画整備面積 (40% = 50.30ha / 125.58ha × 100) (H27当初 12.5%)	13%	29%	40%
2	公共下水道管渠（雨水）増設工事により、当初整備面積 0.00haから最終目標整備面積 4.70haに拡張し、整備率を 5%以上にして、浸水による被害を最小限に留める。(弓沢川右岸第6・下川第3排水区) 弓沢川右岸第6・下川第3排水区整備率 整備済面積 / 計画整備面積 (5% = 4.7ha / (62.16 + 28.00ha) × 100) (H27当初 0.0%) 弓沢川右岸第6排水区 62.16ha 下川第3排水区 28.00ha	0%	0%	5%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富士宮市	直接	富士宮市	管渠(雨水)	新設	弓沢川右岸第4排水区管渠整備(浸水対策)	予定整備面積 = 34.7ha	富士宮市						401		-	
	A07-002	下水道	一般	富士宮市	直接	富士宮市	管渠(雨水)	新設	弓沢川右岸第6・下川第3排水区管渠整備(浸水対策)	予定整備面積 = 4.7ha	富士宮市							35		-
												小計						436		
											合計						436			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	富士宮市	直接	富士宮市	-	-	雨水浸透・貯留施設設置 費補助	雨水浸透・貯留施設設置費に 対する補助	富士宮市						1		-
雨水の浸透・貯留により、短時間に直接流出する雨水を抑制し、雨水渠の溢水の原因となる急激な増水の抑制を図る																			
											小計						1		
											合計						1		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富士宮市社会資本総合整備計画等事業評価委員会による評価を実施	令和2年1月24日
	公表の方法 富士宮市ホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	弓沢川右岸第4排水区については、浸水対策を促進し、被害を最小限に留めることができ、安全・安心なまちづくりを進めることに寄与することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・効果促進事業 雨水浸透・貯留施設設置費補助については、4年間で6か所、42万円の補助を行い、急激な増水の抑制が図られた。 ・弓沢川右岸第4排水区管渠整備（浸水対策）については、浸水対策を促進したことにより、過去に2戸発生した床下浸水被災戸数が解消された。また国道139号の溢水が軽減された。 ・弓沢川右岸第6・下川第3排水区管渠整備（浸水対策）については、平成30年度に弓沢川右岸第6排水区、平成31年度（令和元年度）に実施設計を完了させ、令和2年度から事業を実施する予定である。

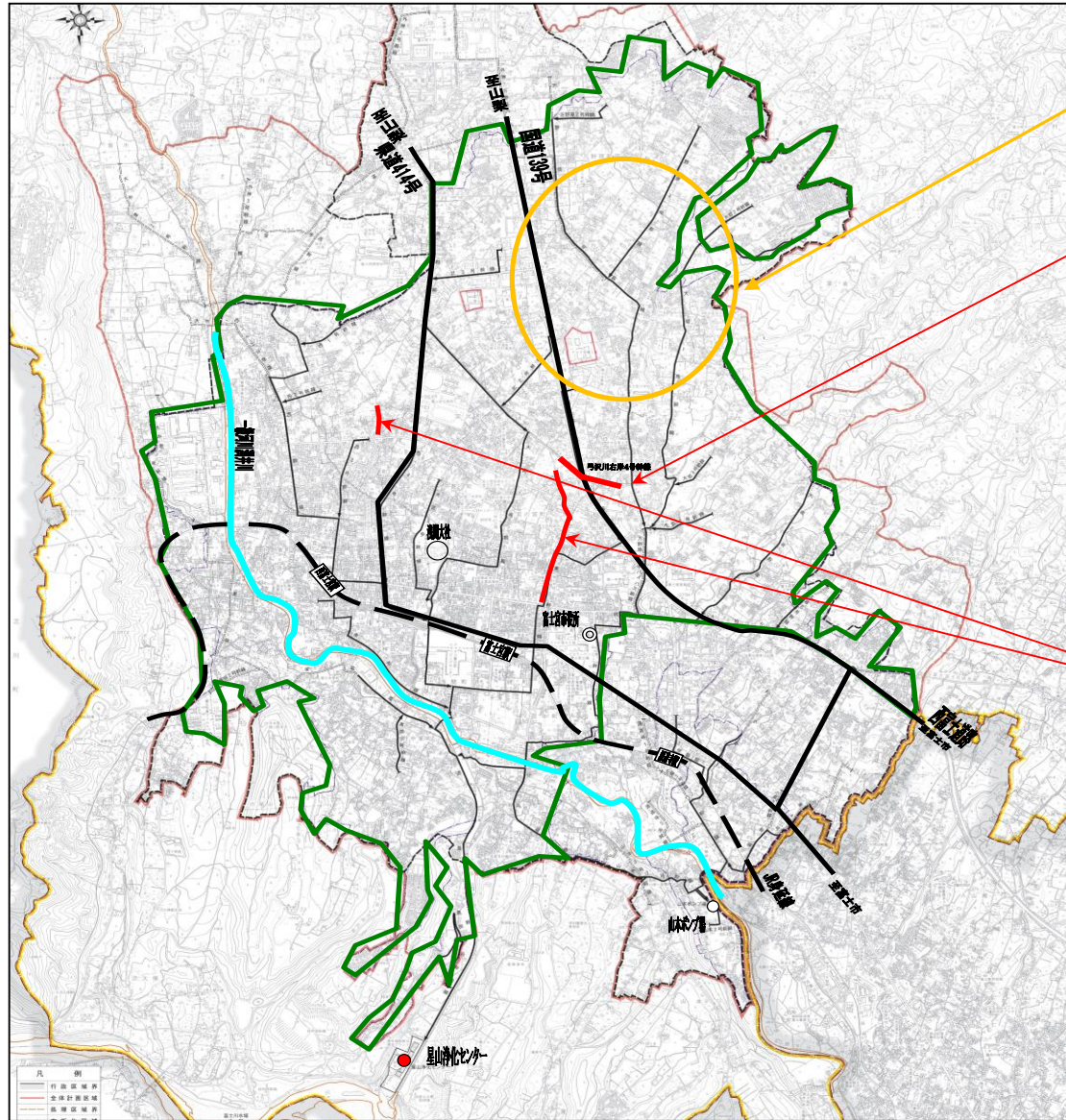
特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、計画的かつ効率的に市内下水道管渠（雨水）の整備を進めていき、安全・安心なまちづくりを推進していく。
また、今回目標値に達しなかった指標については、円滑に進むよう地元や関係機関との協議・調整を丁寧に行い、引き続き目標値の達成を目指して事業を実施していく。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	40%
	最終実績値	40%
国道管理者との協議に不測の日数を要し、H30年度完了予定の工事がH31年度完了となったが、予定していた下水道管渠（雨水）の整備を行い、目標を達成した。		
2	最終目標値	5%
	最終実績値	0%
弓沢川右岸第4排水区の整備に1年遅れが生じたことにより、H31年度着手ができなかったため。		

参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	公共下水道の浸水対策重点計画（防災・安全）		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	富士宮市



C07-001 雨水浸透・貯留施設設置費補助

A07-001 弓沢川右岸4号排水区管渠整備（浸水対策）

A07-002 弓沢川右岸第6
・下川第3排水区管渠整備（浸水対策）

凡 例	
	事業計画区域
	A 基幹事業
	C 効果促進事業
	河川（潤井川）